

福部砂丘ラッキョウのブランド確立を目指して

事業実施主体名	鳥取いなば農業協同組合（福部支店）		住 所	鳥取市
プラン認定日	平成21年12月28日	プラン期間	平成21年～平成25年	

1 プラン内容

(1) 概要

福部ラッキョウ産地では、生産者の高齢化などにより、生産農家数・栽培面積が徐々に減っており、「福部砂丘らっきょうブランド」の存続が危ぶまれている。このため、産地の維持発展のため、生産意欲をかき立てる安定した価格での販売が必要である。市場価格に左右されにくい加工品の出荷比率を高め、選果選別精度の向上を図るとともに販売PRの強化を図ることにより、ラッキョウ栽培農家所得の向上を図り、売上1,000万円以上の農家を増やすことを目的とする。

(2) 取り組みポイント

- 選果選別能力・精度の向上と経費節減を図るために、機能アップ整備を行い、クレーム件数0件を目指す。
- 市場流通に左右されにくい加工品の出荷比率を増やす。
- 販売PRの強化を図り、登録商標「砂丘らっきょう」ブランドを維持していく。

(3) 事業の概要

年度	内 容	事業費 (千円)	補助金額(千円)	
			県	市町村
H21	ラッキョウ集出荷施設機械整備 トラックスケール、芽止機、 コンベア改修、選別機、洗浄機	35,930	11,976	5,989
H22	ラッキョウ集出荷施設機械整備 芽止機、コンベア改修、 選別ホッパー	12,120	4,040	2,020
H24	ラッキョウ集出荷施設機械整備 洗浄機、選別ホッパー	30,080 (交付決定額)	10,026 (交付決定額)	5,013 (交付決定額)
合 計		78,130	26,042	13,022

2 プラン実施状況

(1) 労働力、経営内容

	認 定 時	現 状
労働力（雇用）	生産者数 92人	生産者数 79人
経営内容・規模	ラッキョウ栽培面積 120ha 農協出荷量 1,801トン 販売高 8.3億円	ラッキョウ栽培面積 113ha 農協出荷量 1,448トン 販売高 7.8億円

(2) 成果

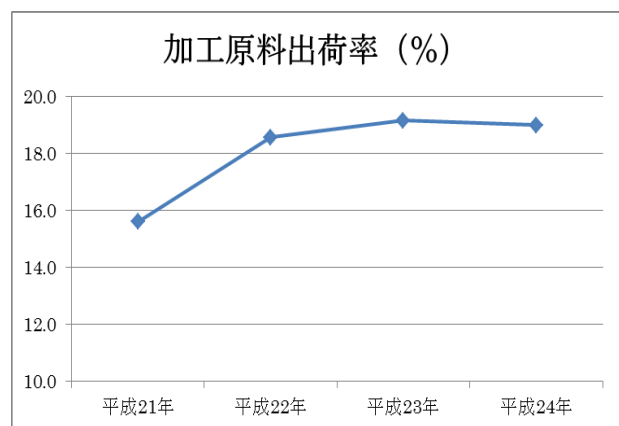
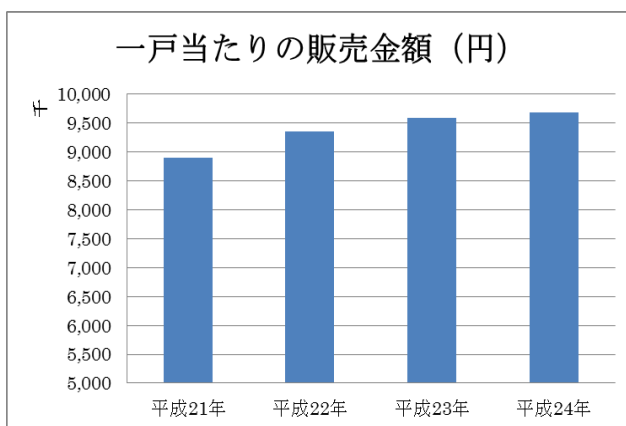
加工品原料の入荷量について：近年の出荷数量の減少が影響し目標の400トンに達していないものの、加工原料の出荷比率は増加しており、平成21年度は15.6%であったものが平成24年度には19.0%となっている。

クレーム件数について：平成24年度は、選果精度に対してのクレームはなかった。新たな選別機械の導入により選別能力が向上したことで製品の高品質化が図れており、「砂丘らっきょう」のブランド確立に向けて努力している。

市場単価について：加工事業強化や契約販売比率の増加などの販売対策や選別精度の向上により販売単価が向上し、いずれの年も目標値の500円/kgを達成している。

1戸当たり販売金額について：近年の異常気象による低収量のため、出荷数量が伸び悩み、販売金額8億円を下回る苦戦の年が続いているが、販売単価の向上、栽培面積の増加などにより1戸当たりの販売金額は向上しており、販売金額1,000万円以上の農家数も増加している。

取組内容	年度別実績			
	H21	H22	H23	H24
平成24年までに加工品原料400tを達成(t)	281	304	270	275
クレーム件数0件を目指す(件)	10	6	3	9
市場単価500円/kg(円/kg)	505	503.1	591	602
加工品原料買取単価420円/kgを持続(円/kg)	420	450	450	450



今後の課題

- ・天候に左右されにくい栽培技術の励行
- ・機能アップした機器を活かした商品の高品質化
- ・試食宣伝会等、潜在的消費者ニーズの掘り起こしを図った販売PRの実施

[東部総合事務所農林局]